

水資源開発公団 人事異動 (昭和54年)

異動年月日	役職名	前 任		新 任	
		氏 名	転 任 地	氏 名	前 任 地
54.3.16	管理課長	青 沼 栄 治	木曾川総合用水第一建設所 <small>(病氣療養)</small>	新 井 禎 夫	三重用水建設所鈴鹿出張所長
54.4.1	弥富出張所長	奥 村 昭 博	東総用水建設所調査設計課長	小 林 滋 男	三重用水建設所調査設計課
54.6.1	工務課長	中 嶋 忠 男	琵琶湖開発事業建設部工務課長	沖 憲 壮	中部支社 建設部第二設計課
54.8.1	所 長	長 野 惇	退職 (大分県庁復帰)	浅 沼 正 夫	福岡導水建設所副所長

西欧紀行

小塚 鼎

このたび機会に恵まれて西欧(ドイツ、スイス、フランス、オランダ)各国の農村状況を視察調査してきた。一口に云って西欧の土地改良は気候風土、民族性から米作は一切なく牧場(畜産)と畑作(麦、とうもろこし、馬鈴薯、蔬菜類等)で自づと日本と性格が異なり、①開かん②農道③農地集団化④総合的土地利用が主体で地域により土壤改良の必要がある程度である。特に集団化、総合的土地利用に重点をおいた施策であり更に最近では老令農業者の離農等により云を公社が買上げ再配分して経営規模拡大を懸命に実施している状況であった。ちなみに日本の場合先づ①用排水整備②ほ場整備と考えるが、西欧では用排水施設は殆んどない。即ち水資源を極度に大事にし、穀物、蔬菜等済水すれば増収出来ることは解っているが水資源を今開発してしまえば子孫が飲料水にも困るので奨励しておらず、排水も年間雨量6~700耗程度(日本の約1/3)で且つ集中豪雨も台風もない自然条件から網目状の当地方の排水路は一切なく(但オランダは別)自然の中、大川が自然に流れる状況で而も之等の河川は大きな堤防もなく僅かに盛上った土手に自然木が生え護岸もないと云った自然そのまゝの形の排水である。(尤も市街地内の河川は日本の場合と変らないが) 中国では自力更生が合言葉と云われるが西欧も古いものを大事にしその土地に産する資材で仕事をし余分な金は使わない国民性の現われではなかろうか。

総合的土地利用について特に入念な神経を払い各部門(例えば、住宅、森、鳥類保護、自動車道路、鉄道等)が3~4年もかけて調整の上長期展望に立って決定される。之等の総合的開発、自然愛護については当地方の農村も考えるべきであろう。

EC全体で畜産物に乳製品は日本の米と同じく過剰で生産調整を懸命に実施しているが仲々うまくゆかないようだ。従って例えば牛乳は1ℓ100円が消費者小売価格(オランダ)である。—食管制度的なものはない模様—

スイスは国全体がゴルフ場乃至は日本流に云えば箱庭と云う感じでジュネーブは町全体が国際感覚も多彩で特に観光国の王者である。但し農業には恵まれず過疎地に農家を定着させるのに懸命の施策を実施中であった。

ドイツ、フランスの過疎地方ではローマ時代からの古い教会等を中心に観光農業、民宿の整備、特産のワイン等を売物として都会人に魅力を与えるよう努力中である。尚、国民性について云えば兎に角古いものを大事にし、自然を愛し、人間社会のルール道徳、礼儀を重んじ、人生を楽しく享受する社会的訓練が行届き国民1人1人がお互いに監視し合っているようにさえ見られた。このように西欧は日本からみれば表面は華やかに視られる向きもあるが内面的には恵まれない問題も多くあるのに注目すべきであろう。そして吾が国が如何によい国であるかに気付くのである。否、贅沢すぎるのではなかろうかと反省させられた。

生活については西欧諸国民は贅沢で肉ばかり喰っていると考え勝ちであるが決してそうでなく一般民衆は牛肉は高いから豚肉、ソーセージ、羊肉等をパンと馬鈴薯、野菜と共に常食としている。そして如何にカロリーを確保するかに主眼がおかれ日本料理のような見た目の美しさはない。従って例えばきうりは若い商品価値のあるうちに採らず完全に成熟する迄おいて始めて採ると云った具合である。テレビも大都会(パリ等)でさえ3チャンネル程度でその内1つがカラー、他は白黒で放送時間も正午から夜10時頃迄の間である。



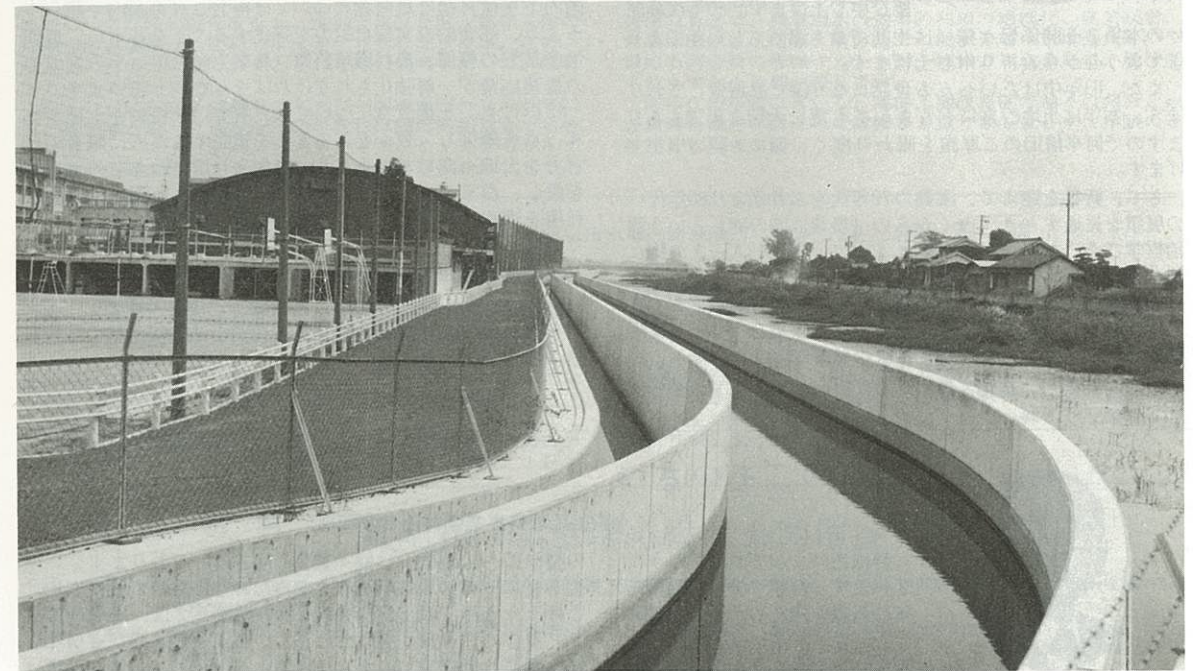
おしらせ

- ◇ 吉川理事長の藍授褒章受賞
去る11月3日本年秋の褒章受賞者県下32人の1人としてその栄誉を得られました。
- ◇ 土地改良法制定30周年記念行事表彰受賞
農林水産大臣表彰受賞 吉川 博(理事長)
愛知県知事感謝状受賞 日比野 真一(理事)
- ◇ 海部農地開発事務所長小塚鼎氏は去る9月29日から農林水産生産向上会議農地整備事業視察団員として西独、スイス、フランス、オランダの各地の事情を視察され10月18日無事帰国されました。
- ◇ 十四山村長加藤鋭男氏、佐識町長八木彰氏のご両名が11月2日付で当土地改良区の参与に委嘱されました。

海部土地改良区広報

昭和55年1月1日発行 No.5
発行所 海部土地改良区
所在地 津島市西柳原町1-14
電話 津島(0567)28-1965
印刷 一葉綜合印刷(株)

表題 吉川 博



筏川東岸用水路

年頭に当って

理 事 長 吉 川 博



今日水の重要性を認識しない者は居らないでありましょう、二十数年前吾々政治に携る者は今日の事情を想像し水源対策を呼び続け努力して来たものであります。其れだけに愈々木曾川用水事業も終りに近づき生活用水農業用水共々何んの不自由も無く木曾川の恩恵を受ける事の喜びは全く感慨無量のものがあります。今日迄歩んで参りました其の間関係住民はもとより、市町村長を初め海部土地改良区役員各位の御理解と御協力に対し心から御礼を申し上げます。又国、県、水資源開発公団関係者の方々に対しましても今日迄御援助御推進賜りました事を厚く感謝致す次第であります。この頃日本の気象状態も極めて不安定であり水不足を各地で引き起こして居る状況をみる時其の感激は一増であります。県下に於きましても豊川用水等水源不足の現情を眺める時当地域と引き比べ同情を禁じ得ません。

政治は先を見越し絶えず努力しなければならぬと考えます。当地域の地盤沈下対策事業も愈々本格的に事業に入りましたが地域住民の方々の御理解と御協力を賜りますようお願い致します。

相互に常日頃防災に努力してこそ楽しい生活の幸が迎えられるものであります。木曾川用水の末端までの事業が一日も早く完成する事を御祈りしまして御挨拶と致します。

年頭あいさつ



全国土地改良事業団体連合会理事 参議院議員

梶木 又三

明けましておめでとうございます。海部土地改良の皆様には輝かしい80年代へ向けて希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。80年代幕開けの本年こそ関係皆様には生涯で最も素晴らしい年でありませう心からお祈り申し上げます。

中で正しく位置づけられなければならぬ国の繁栄も民族の安全も確保できないことは云うまでもありません。

そのためには、将来にわたり安定した農業生産の振興と、国民食糧の安定的供給確保のため、国内生産体制を整備し、国内で生産可能な農産物については極力これを国内で賄いよう、総合的な食糧自給力を強化することを基本に、農業生産基盤の整備、農村環境整備、農業生産の担い手の育成等の農業施策が一層強化されなければならないと思います。

幸いにも、土地改良については、有史以来祖先が土地を拓き、水を確保し、豊かなふるさとを建設するために幾多の汗と力を大地へ向けてきました。祖先より培われたこの『農業を愛し、農家の人々の幸せを願う心』が美しい国土の健全な利用を進め、農業を振興し農家の生活を守る大きな力となっております。

土地改良関係の皆様ともども、このような土地改良の持つ意義と使命を十分に認識し、これまでの成果を踏まえ、今また新たにここに『力強い結集』に期待しまして、私の年頭あいさつといたします。

また、旧年中はたいへんお世話になり深く感謝致しております。本年は土地改良にとりましても更に大切な年でもありますので何卒旧日のご厚誼を賜わり度く、偏にお願い申し上げます。

さて、新年を迎えて、激動の70年代をふりかえり80年代への展望を見通すとき、古くからの『農業は国の礎』という政治哲学こそ、また、新しい響きを以て、国民一人一人の胸に迫ってくるものがあると信じます。

わが国経済は幾重にも押し寄せる石油危機を契機として難局に直面しており、その体質改善を強く求められております。農林水産業もその例外ではありませんが、難局に直面すればするほど、国民に食糧を供給する農林水産業が、国の政治の

新年のごあいさつ



全国土地改良事業団体連合会顧問 岡部 三郎

皆様あけましておめでとうございます。希望に満ちた昭和55年の新春を迎え心からお慶び申し上げます。早いもので貴土地改良区が誕生して10年以上の歳月が流れました。昨年創立10周年記念式典が盛大に行われましたことを想い出し、慶びの気持ちで一杯でございます。この10年余の間に木曾川用水事業は着々と進み、皆様の田畑に馬飼からの水が届くようになりましたが、この間、吉川理事長さんをはじめ役員の方々及び受益者の皆様の御苦勞はいかばかりかと拝察し改めて深く敬意を表する次第です。農業をとりまく諸情勢は極めて厳しいものがありますが、農業基盤

の整備即ち土地改良は益々重要な度を増しておりますし、今後も更にその必要性は大きくなるものと確信しております。このような中で貴土地改良区におかれましては、吉川理事長さんを中心に結束を強化されまして事業の促進及び適切な管理に引続き御努力いただきますことを願っています。平素は御無沙汰に過ぎて恐縮ですが私もお蔭様で極めて元気で土地改良の促進のため全国各地をまわっております。甚だ微力ではございますが皆様方の御要望を実現するために精一杯の努力を致す所存でございますので、どうぞよろしくお引立ての程をお願い申し上げます。終りに臨み貴土地改良区の御発展と組合員の皆様の御多幸、御健勝を心より祈念致しまして新年の御挨拶に代えさせていただきます。

新春を迎えて

愛知県農地林務部長 勝 又 讓

皆さま、あけましておめでとうございます。新春を寿ぎ、謹んでお祝い申し上げます。

昨年、引続く経済の安定成長期のなかにあつて県行政の面においても農業の振興を図るため、農地林務部におきましては、土地改良事業等を推進いたしました。米の供給過剰問題等をかかえた農業にとりましては、まことに厳しい環境の一年であったものと推察いたします。

今日、食糧の確保と安定的供給は、重要な課題であり、需要の動向に即応した生産体制の整備が必要と存じますが、その支えとして土地改良事業は、農業生産の基盤づくりと、豊かで住み良い農村を建設するための極めて大切な事業であると存じます。

こうした中で、当地域における念願の大事業であります木曾川用水事業は、皆様方の多大な御理解と御協力によりまして、着々と事業が進展し、基幹施設等は九割程度の進捗状況

昭和55年 元旦

80年代の年頭にあたって

海部農地開発事務所 所長 小塚 鼎

1980年代の年頭にあたり謹んで海部土地改良区組合員の皆様方に新年のご挨拶を申し上げます。皆様方におかれましては、益々御壮健にて21世紀への足掛かりの新年を平和のうちに、しかも木曾川用水の全面通水という喜びと期待をもって、お迎えのこととお慶び申し上げます。

ご承知のごとく、木曾川用水事業も着工以来10年余を経過し、ようやく完成のきざしが見えてまいりました。すなわち公団直営の農業専用施設については、昭和55年度県営委託事業については昭和56年度なお、海部土地改良区が事業主体の関連団体営事業は、昭和57年度をそれぞれ完了目途と定め、受益者の皆様のご協力のもとそれぞれの機関に於いて、鋭意努力中であります。

顧みれば昭和52年度感激のうち一部通水が行なわれて以来、各工事も着々と進み昭和54年度には鍋田干拓地まで木曾の清流がとうとう流れ、始めてパイプラインによるかんがい施設が効果を果し、受益者の方々のお喜びもひとしおであ

ったと喜んでおられる次第でございます。また、残されていた一部の区域についても、昭和54年度工事の完了によりその成果が期待されるわけでありませう。

工事が進むにつれて、これからの土地改良区の事務局並びに組合員の皆様の活躍の場でございます。事業で造成された幾多の施設をいかに有効に利用し、管理していくかという大きな課題が残されております。

米の生産過剰による水田再編対策等農業をとりまく厳しい環境のもとで、農業用水の効率的利用の組織化、農業経営、営農体形の近代化等、新体形での配水管理に土地改良区の役員始め組合員の皆様一人一人が一致協力されまして、御精進されますようお願い致します。

80年代の年頭にさいし、海部土地改良区の益々の発展と組合員の皆様方の益々のご健勝をお祈り致しまして、年頭のご挨拶と致します。

年頭にあたって

木曾川総合用水第一建設所 所長 浅沼 正夫

土地改良区の皆様、昭和55年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

豊かな木曾川の水を有効に利用し、農業の近代化をはかるうとする、木曾川総合用水事業が、本格的な施行態勢に入ってから10年を越すことになりました。現在90%を越す事業の進捗を見ることが出来ましたが、これは、ひとえに土地改良区の皆様への深い御理解と、御支援の賜物と感謝申し上げます。工事施工中の地区の方々には、いろいろ御協力をいただいておりますことを心から御礼申し上げます。今後は、1日も

早く施設を完了し、関係地区の隅々まで、十分な水を送り、近代化農業地域としての発展を祈念するものであります。工事施行と併行して行なつて参りました暫定通水も、4年目を迎えますが、今年は、更に広範囲の地区に送水出来る状態となりますので、管理態勢の充実をはかり、より良い通水管理を実施いたしたいと、考えております。

間近い本事業の完成に向けて、本年も、尚一層の御協力と御支援をお願い致しますとともに、皆様の御多幸と御発展をお祈り申し上げます。

《昭和54年度臨時総代会開催》

Table with 3 columns: 議案番号, 議案内容, 議案内容. Lists resolutions from the 17th to 30th sessions.

◆昭和53年度決算◆

Financial statement table for 1978 (昭和53年度) with columns for 収入 (Income) and 支出 (Expenditure), including sub-totals for 款 (Category) and 決算額 (Final Amount).

農地転用協力金特別会計 (昭和54年11月10日承認)

(単位 円)

Table with 4 columns: 収 入 (Income), 支 出 (Expenditure), 款 (Item), 決算額 (Final Amount). Rows include 農地転用協力金, 繰越金, 繰入金, 雑収入, 計 (Total), and 差引残高 (Balance).

木曾川用水関連土地改良事業特別会計 (昭和54年11月10日承認)

(単位 円)

Table with 4 columns: 収 入 (Income), 支 出 (Expenditure), 款 (Item), 決算額 (Final Amount). Rows include 特別負担金, 補助金, 長期借入金, 繰越金, 雑収入, 計 (Total), and 差引残高 (Balance).

◆昭和54年度補正予算◆

一般会計 (昭和54年11月10日可決)

(単位 千円)

Table with 8 columns: 収 入 (Income), 支 出 (Expenditure), 款 (Item), 既定予算額 (Original Budget), 補正予算額 (Revised Budget), 予算額計 (Total Budget). Rows include 組合費, 委託費, 繰越金, 繰入金, 借入金, 雑収入, 繰戻金, 計 (Total).

農地転用協力金特別会計 (昭和54年11月10日可決)

(単位 千円)

Table with 8 columns: 収 入 (Income), 支 出 (Expenditure), 款 (Item), 既定予算額 (Original Budget), 補正予算額 (Revised Budget), 予算額計 (Total Budget). Rows include 農地転用協力金, 繰越金, 繰入金, 雑収入, 計 (Total).

木曾川用水関連土地改良事業特別会計 (昭和54年11月10日可決)

(単位 千円)

Table with 8 columns: 収 入 (Income), 支 出 (Expenditure), 款 (Item), 既定予算額 (Original Budget), 補正予算額 (Revised Budget), 予算額計 (Total Budget). Rows include 特別負担金, 補助金, 長期借入金, 繰越金, 雑収入, 計 (Total), and 支 出 (Expenditure) items like 事務所費, 事業費, etc.

◎総代、理事の補欠選挙について◎

昭和54年 5 月 17 日 堀田秀丸氏から組合員資格喪失の届出がなされ、これに伴う総代会第 5 選挙区及び役員第 1 被選挙区の補欠選挙につきましては、総代については津島市選挙管理委員会の（10月 9 日告示、10月19日立候補締切、10月29日投票）もとに、理事については昭和54年11月10日臨時総代会において夫々執行されましたが、総代、理事とも立候補者の数がいずれも定数を超えなかったため次の方が無投票当選と決定され、新しい総代、理事として就任されました。

(総代) 加藤良明 佐織町大字諏訪字郷東108番地 (昭和54年10月29日就任)
(理事) 加藤良明 佐織町大字諏訪字郷東108番地 (昭和54年11月13日就任)

)|(昭和54年度夏期用水の取水状況と水管理について)|(

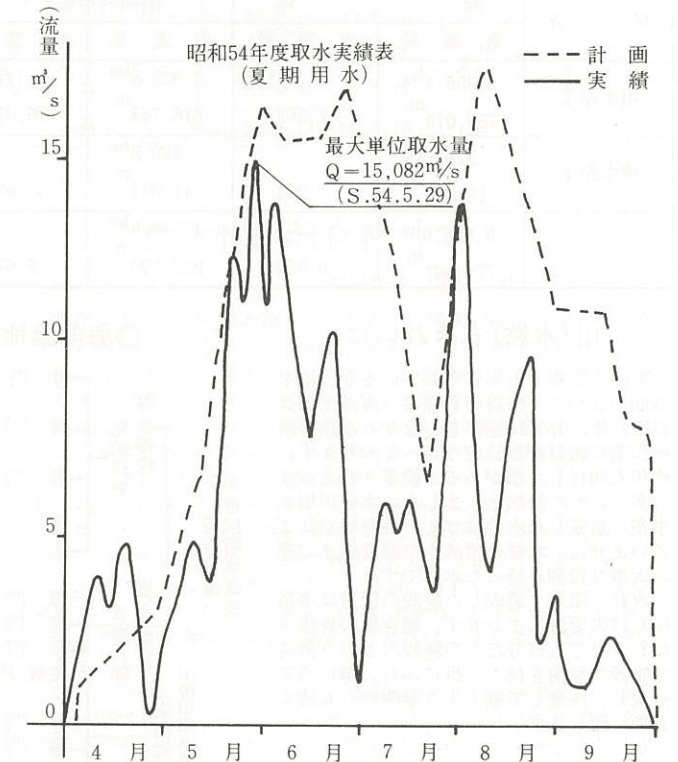
本年度の夏期用水の取水実績は右記のとおりであります。公団の幹線水路の進捗により本年度は鍋田用水路が完成し鍋田地区については全面通水が可能となりました。又筏川西岸用水路も十四山支線取水口の downstream まで完成し十四山支線関係地域に本年度始めて馬頭頭首工からの水を配水することが出来ました。来年度には飛鳥地域に配水が可能となる見込であります。

海部農地の木曾川用水課長は木曾川用水事業を自分の名前で表示している。

昨年 4 月木曾の清流が始めて鍋田干拓地（稲山工区）へ通水された。通水テスト時に稲山の役員の前で言った言葉である。本日木曾川の水が馬頭頭首より海部幹線、筏川西岸、鍋田用水路を過て速々25kmの干拓地まで流水されたがこれからは、この貴重な水を大切に、又立派に管理してこそこの価値があるのだ。

言うなれば、この流れは私の名前のようなものだからここで曰く

!!清らかな水は干拓へと末永く正しき管理に雄々しく流れん!! (木曾川用水課長 清水正雄)



“木曾川用水課だより”

海部農地開発事務所

木曾川用水課長 清水正雄

先の臨時総代会に於いて海部土地改良区、地区除外等処理規程が制定されたことは、土地改良区の地域の把握及び円滑な運営を図る重要な規程であり、これに伴う「農地転用決済金」の額の算定にあたり、関係機関の指導のもと、算定基礎作りにも努力された事務職員に敬意を表す。

当地区除外規程は昭和51年度農林省の土地改良区検査にあたり指摘されたものであるが土地改良区としては受益地の一筆調査の進捗に伴い面積の確定と事業費の変動による計画変更が未了であり、又地域の地盤沈下の状況に即応した排水事業の他事業（地盤沈下対策事業、湛水防除事業等）への切換

もあり、木曾川用水事業の完了予定事業費の把握に日時を要したが、これに算定された決済金は事業開始時より年度毎にしかも各支線水路ごと、関連事業工区ごと又、管理費も含めた膨大な資料である。

先般農林省の土地改良区検査（10月25、26日）で地区除外等処理規程の（案）を事務局より説明がなされ、農政局担当検査官もその内容の充実さに感心され検査立会した指導機関の1員として喜びを味わうと共に組合員のみなさまにご照会し、この規程を活用していただくことをお願いしたい。

○木曾川用水事業（水公団委託）の進捗状況

Table with 8 columns: 区分, 総事業量, 事業費, 昭和54年度まで, 昭和55年度以降, 進捗率. Rows include 支線用水路, 幹線排水路, 支線排水路, and 計.

○木曾川用水関連土地改良事業（海部(土)委託）の進捗状況

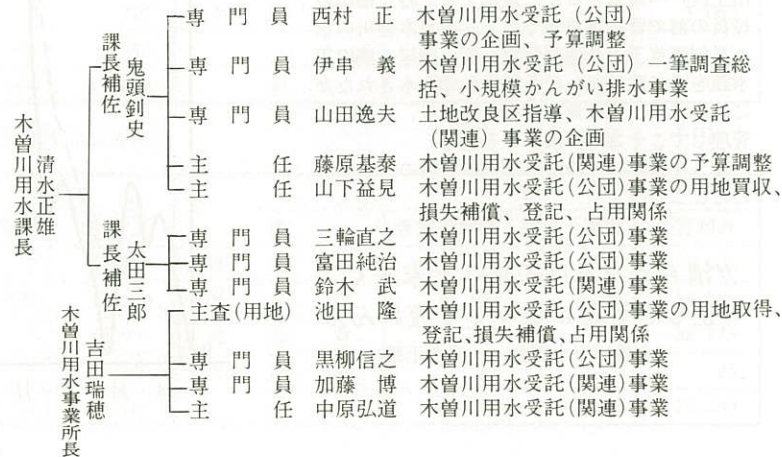
Table with 8 columns: 区分, 総事業量, 事業費, 昭和54年度まで, 昭和55年度以降, 進捗率. Rows include 用水路工, 排水路工, and 計.

川(水路)をきれいに

毎回の広報でもふれられているが、通水時期が近づくと施設の管理者（海部土地改良区）は、非常に迷惑をしながら水路の清掃作業に職員が毎日走り回っております。昨年と同行した事があるが投棄されたゴミの多きにただ茫然としました。木曾川用水事業で造成した水路はゴミの投棄場ではございません。木曾の清流を末端農地まで運ぶ大事な役割を持った水路です。

水路に限らず造成した施設の管理は事務局だけの管理にまかせず、組合員の皆様方におかれても自分たちの施設だという気持ちで施設に愛情を持ち、折にふれ、時に当て監視し、注意して載くよう県側からも強くお願い致します。

◎海部農地開発事務所木曾川用水課組織図



—水公団だより—

昭和54年度（公団直轄）工事概要

木曾川総合用水第一建設所 副所長 木村一郎

木曾川総合用水事業の推進につきましては皆様方の御協力を賜わり有難く御礼申し上げます。

昭和54年度主要建設工事の進捗状況につきましては別図に示すとおりです。

海部幹線においては、国鉄関西線の鉄橋付替工事との関係で、ここだけ残っておりまして弥富町小島新田地区の延長96mの区間を着工いたしました。

筏川東岸用水路は53年度に引き続いて、残工事延長3100mと飛島用水路との取付部約206mの建設を進めています。鍋

田用水路延長1484mは54年をもって全線完成いたしました。

これによって今年4月には馬飼大堰から取水した木曾川の水が、公団直轄水路の末端迄届くこととなります。

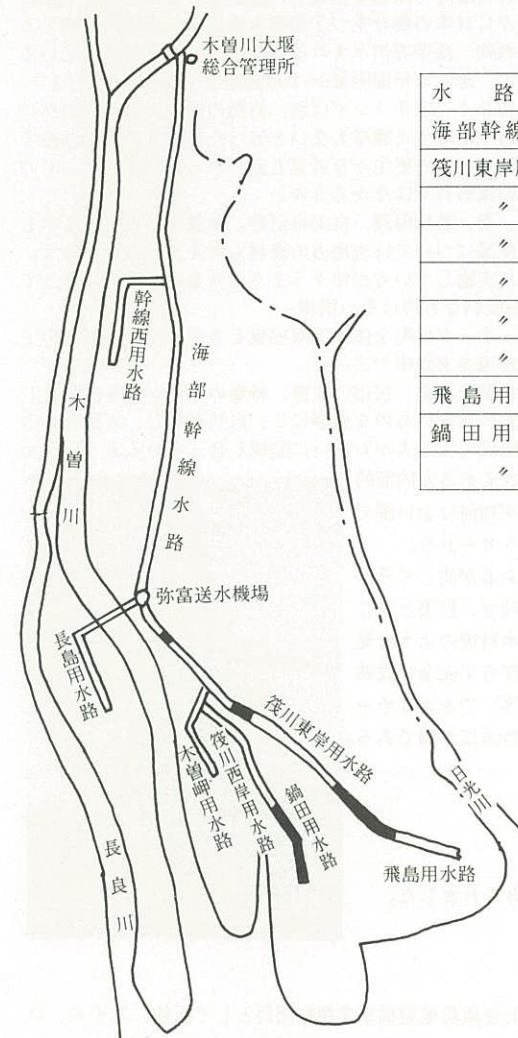
その他地盤沈下に対応するための水路嵩上げ工事、管理用道路の舗装工事、末端排水関係工事、各種電気・通信・機械の整備を実施します。

事業の完了を間近にしておりますので、今後とも全施設の整備に留意し、有終の美をおさめたいと考えております。

木曾川用水（公団直営）施工概要図

54年度主要用水路工事

Table with 5 columns: 水路名, 工区名, 延長, 工期, 備考. Lists various waterway projects and their completion status.



Legend table for the map showing symbols for 53年度迄 and 54年度.

54年の水管理を終わって

管理課長 新井秀夫

昨年は梅雨入り宣言が出されたとともに晴天が続き、愛知用水をはじめ各地では水不足による節水対策がとられてきましたが、当受益地では十分な水に恵まれ、改めて木曾川流域の広さ、大きさに驚いた次第であります。

昭和52年5月に木曾川大堰ゲートをおろし、暫定通水を開始してから3年目を迎え、洪水による大堰ゲート操作および配水業務など不慣れによる戸惑いや不安感も解消し、かんがい期を迎えるや「さあ、我々の出番だ。」と自信をもって管理業務に努めてまいりました。

昨年はあらたに十四山調節堰までの通水を行い、不安定な取水に悩まされた地域に木曾川大堰で取水された水を送ることが出来ました。水路の完成もあと僅かとなり、全域にきれいな水がとどく日も間近です。私達は安定した良質の水を送りどけるために、地域と一体となった管理体制を更に強化していかなければならないと考えております。

建設と管理が併行しているという事情の中で、土地改良区理事長はじめ関係者各位の暖かいご指導、ご協力によりまして、恙なく配水業務を終ることができました。関係者各位に心から感謝すると共に、昨年の経験を生かし本年の水管理をより良くするために、施設の改良、管理方法など技術の向上に努める所存であります。皆様方のより一層のご指導、ご便覧をお願い申し上げます。